

主催：静岡大学農学部就職戦略室

共催：農学部援護会・農学部同窓会・農学部広報委員会

<https://www.agr.shizuoka.ac.jp/>

キャンパスフェスタ in 静岡

学生研究発表会

2023年

11月4日

13:30-16:00

会場

静岡大学

農学総合棟2階

大講義室

静岡大学農学部では、幅広い研究分野で基礎から応用までの多彩な研究を行っています。今回、その成果を広く皆様にご紹介する「研究発表会」を開催いたします。この企画では、約30の農学部研究室に所属する大学院生が、最新の研究成果をわかりやすくプレゼンテーションいたします。さらに、特別に、農学部設立された寄付講座からの展示会も同時に開催し、バイオプラスチックを用いた最新の超小型BEV「もくまる(トヨタ車体)」に触れる機会を提供いたします。静岡大学農学部の魅力を直接体験し、私たちの研究とイノベーションの世界に触れていただければ幸いです。

image.space

"Generate a visually stunning image representing the cutting-edge research and innovation in agricultural sciences, encompassing diverse fields such as advanced solution cultivation, chemical composition analysis, ion beam applications, DNA exploration, environmental conservation, smart agriculture, photosynthesis, aroma compounds, yeast applications, peptides, and the intersection of chemical biology, all while emphasizing the intellectual depth and forward-looking nature of these agricultural studies."

静岡大学農学部 学生研究発表会 演者とテーマ一覧

発表番号	学年	分野	フリガナ氏名	発表テーマ
生物資源科学コース				
1	M2	野菜園芸学	キノシタ 木下 あずさ	養液栽培が安定生産のカギを握る！～高品質・多収を叶える野菜の生産技術～
2	M1	木質バイオマス利用学	ナカノ 中野 リョウ太 棕太	マルクビケマダラカミキリの幼虫が排出したフラスの形態的特徴および化学成分の調査
3	M2	植物生産管理学 (果樹園芸学)	シマダ 島田 リキ 理暉	種なしカンキツを作りたい！その願いイオンビームでかなえます
4	M1	植物生産管理学 (園芸生理学)	フジタ 藤田 チャ 知也	イオンビームで大変身☆～冬を彩るかわいいストック～
5	M1	野菜園芸学	カネコ 金子 リキヤ 力也	土がなくても野菜は育つ！～ hidroponics の現状と未来～
6	M1	ポストハーベスト	シマダ 島田 タクト 琢人	オレンジが橙色から緑色に変わっちゃう？！～ 回青現象の不思議～
7	M2	分子進化・情報生物学	ナカタ 仲田 ショウヘイ 昇平	DNAから生物進化を探る！
8	M2	応用昆虫学	ナカムラ 中村 タイチ 太一	アブラムシの種の混在が植物および各アブラムシ種に与える影響
9	M2	園芸イノベーション学	ナカゴミ 中込 ミンホ 光穂	リンゴ果実を食卓でジャムに！～クッキングアップルの「煮溶け」の機構解明
10	M2	植物病理学	ジェフリ Hari アディ Jepri Hari Adi	環境保全型農業への貢献 ワサビ軟腐病に対するファージセラピーの開発
11	M1	高分子複合材料学	マツモト 松本 リホ 梨歩	静岡県産早生樹を用いた合板の接着性能
12	M1	住環境構造学	ススキ 鈴木 ショウヘイ 修平	接合具配置が木質構造用ビスの引き抜き性能に及ぼす影響
13	M1	花卉園芸学	コウベ 河邊 コウヒ 雄飛	ペチュニア花冠のカロテノイド蓄積による鮮黄発色機構の遺伝解析
14	M1	植物生産管理学 (雑草学)	コバヤシ 小林 ヨシヒロ 佳大	スマート農業システム開発のための伝統的除草技術の再評価
15	M2	造林学	ナカタ 中田 シュウト 修人	ダケカンバの光合成と水利用特性の産地間変異の評価—温暖化の影響予測を目的として—

応用生命科学コース 【自然科学系教育部バイオサイエンス専攻（博士課程後期）の学生を含む】

16	M2	植物機能生理学	イシグロ 石黒 ヨシキ 雄大	お茶の宝庫：2,500系統のチャ遺伝資源の多様性解明
17	M1	植物化学	ホンマ 本間 シュンイチ 駿一	香りがトマトを強くする！ 一揮発性有機化合物を用いた植物の化学防御メカニズムの解明—
18	M1	環境微生物学	シマダ 島田 ユイ 結衣	芳香族塩素化合物分解細菌の分解機構解明を目的としたRNAポリメラーゼ精製
19	M2	植物機能生理学	キムラ 木村 マサフミ 将文	酵母を使って細胞の中を見る：液胞膜ホメオスタシス制御機構の解明
20	M1	応用微生物学	コバヤシ 小林 リョウ 稜	異宿主生産による環状ペプチドの発酵生産
21	M1	植物化学	クシハラ 榎原 リト 立冬	ケミカルバイオロジーって何？タンパク質の機能解析を目的とした化合物の分子設計
22	M2	食品栄養化学	ニシナ 仁科 リカコ 里佳子	食事で消化管のバリア機能を高めよう！ 一遅消化性グルカンによる小腸絨毛の伸長—
23	D3	生物工学	イケガヤ 池谷 マリナ 真里奈	GH31ファミリーに属する機能未知α-ガラクトシダーゼの基質特異性と立体構造の解析
24	M1	生物化学	ササキ 佐々木 リュウスケ 隆亮	キノコで木材からプラスチック原料を！？～バイオリファイナリーに関する研究～
25	M1	植物遺伝学	ショウ ユイ	ghost white変異体の原因遺伝子であるSolyc08g005010の機能解析
26	M1	生物化学	ヤスイ 安井 ヒロム 照	キノコが人類を救う！？—フェアリーリングの化学的解明と応用—
27	M1	生命機能分子	ハシノ 橋野 ヨシヒト 嘉仁	PETに吸着するタンパク質を大搜索～ファージディスプレイ法によるPET特異的吸着ドメインの開発～
28	M2	植物機能生理学	トネ 利根 ナツキ 菜月	テアニン含量の多様性を生じる要因の探索：140のチャ品種から読み解く
29	M1	海洋発生生物学	ケンジョウケイタ 金城 敬太	ホヤが自家受精する条件とは？自家不和合性機構の謎に迫る
30	M1	植物機能制御学	オオスキ 大貫 マヒロ 真弥	遺伝子発現モニタリングからみえてきた一番茶が芽吹き始める仕組み